

# 感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所 3階  
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和5年  
5月号



## 東京都内の感染症流行情報

第20週（5月15日～5月21日）の流行情報

- ・インフルエンザの定点あたり報告数は2.01人で、前週（0.96人）と比較して増加しています。
- ・感染性胃腸炎の定点報告あたり報告数は7.42人で、前週（5.87人）と比較して増加しています。
- ・梅毒の報告数は53人です。昨年から梅毒の急増がみられています。

## 梅毒が流行しています！



### ★妊婦さんの感染にも注意！ 20代女性の報告数が増えています

妊娠中の感染により、お腹の赤ちゃんにも梅毒がうつり、早産や死産、新生児死亡、先天性の障害を引き起こすことがあります。予防が大切ですが、妊婦さん・パートナーさんともに、感染の不安を感じる機会があったら早めの検査を受けましょう。



### ◆梅毒ってどんな感染症？

梅毒トレポネーマによって起こる全身性の感染症です。  
菌を排出している感染者との性的接触（粘膜や皮膚との直接的な接触）で感染します。

### ◆梅毒の症状は？

陰部・口腔内のしこり、足の付け根のリンパ節の腫れ、赤く目立つ全身性の発疹などがあります。感染後、約3週間の潜伏期間を経て症状が出現しますが、中には感染しても症状がでない人もいます。治療をせずにいると、数年～数10年後に心臓、血管、神経の異常が現れることがあります。

### ◆検査や治療は？

一般的な受診先は、婦人科や皮膚科、泌尿器科等です。血液検査（抗体検査）によって梅毒に感染しているかどうか調べます。内服治療もしくは筋肉注射により治療します。

## まずは予防が大切です。感染の不安があるときは検査を受けましょう。

感染を防ぐためには、コンドームの正しい使用が大切です。  
感染の不安があるときは検査を受けましょう。接触直後の検査では正しい結果が出ない場合があるため、感染を疑う機会から4週間以上経過してから検査を受けましょう。

## 墨田区で梅毒の“無料・匿名検査”を受けられます

### 〈すみだ@あんしん検査〉 梅毒の急増を受け、6月29日にHIV・梅毒の即日検査を実施します

開催日：令和5年6月29日（木）16：30～19：30

会場：すみだ産業会館（墨田区江東橋3-9-10 墨田区・丸井共同開発ビル9階）

★事前予約制です。予約は必要ですが、匿名無料検査ですのでご安心ください。

★即日検査では、原則としてその場で検査結果が分かります。

ただし、判定保留の場合、確認検査が必要です。予約方法は墨田区ホームページに掲載予定です

### 〈HIV検査・梅毒検査〉 毎月1回、匿名無料検査を実施しています

直近は「6/1（木）」「7/6（木）」に本所保健センター2階で検査を予定しています。

検査について詳しくお知りになりたい方は、墨田区ホームページをご覧ください。



墨田区ホームページ

# 薬剤耐性（AMR）～私たちの未来を守るために知ってほしいこと～

## ◇薬剤耐性（AMR：Antimicrobial Resistance）って何？

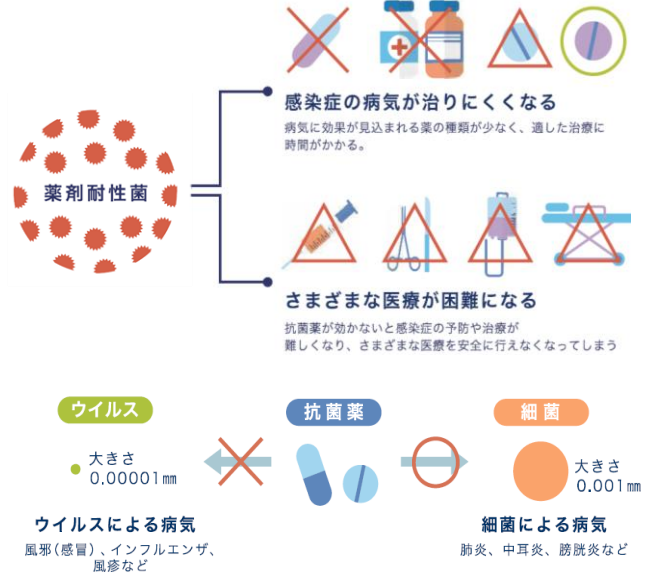
感染症の原因となる細菌に**抗菌薬（抗生物質と呼ばれることもあります）**が効かなくなることです。

## ◇薬が効かないとどうなるの？

抗菌薬を自己判断で飲んだり、医師の処方を守らないと治らないばかりか副作用が出たり『**薬剤耐性菌**』が生じて感染症の治療や予防の妨げとなります。

## ◇抗菌薬は万能？

「かぜ」をひいたときに「**抗菌薬**をもらって早く治そう」と思ったことはありませんか？「かぜ」の原因のほとんどは“ウイルス”です。**抗菌薬**は“細菌”に効果がある薬なので、ウイルスが原因となる「かぜ」には効果がありません。本来必要でない**抗菌薬**投与が『**薬剤耐性菌**』の増加につながります。



※AMR臨床リファレンスセンター情報サイトより引用

## ◇『薬剤耐性菌』を生まないために今から取り組むことが必要です！

『**薬剤耐性菌**』は世界中で問題となっています。このまま、対策を講じなければアジア・アフリカを中心に年間1,000万人以上が死亡するという状況が予測されています。一方で近年、新しい抗菌薬はなかなか開発されなくなっており、数十年後には、抗菌薬が効かない菌が世の中に蔓延してしまう恐れがあります。

薬剤耐性菌を増やさないために、できることを実践していきましょう。

## 薬剤耐性菌を増やさないため“私たちにできること”



※AMR臨床リファレンスセンター情報サイトより引用

さらに詳しい情報は  
こちらからご覧ください。



『AMR臨床リファレンスセンター』

AMRについてのお知らせは、『AMR臨床リファレンスセンター』の情報をもとに作成しています。

## 新型コロナウイルス感染症について ～感染防止対策の継続が大切です～

令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症が5類感染症になりました。発熱等、症状が出たときの対応や療養期間、ワクチン接種等に関する情報は、墨田区ホームページをご確認ください。

墨田区ホームページ→



このお知らせは、東京都感染症情報センター (<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>) の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」 (<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/weekly/>) の情報をもとに作成しています。